



☆秋号メインピックス☆

◆お老先生、山中（やまちゅう、現山口県立山口高校）時代の思い出

今秋満102歳をお迎えになるお老先生の85年前の思い出は？ (→2ページ)

◆薬剤科から「インフルエンザ感染症情報」

いよいよインフルエンザの季節、まず早目の予防から (→3ページ)

◆透析センターからのお知らせ

9年目を迎えた透析センターのいま。どんな特色？ (→4ページ)

◆工藤明敏診療部長・外科部長の「がん講演」のご報告

9月28日(土)に開催された「がん講演」、当日のようすは？ (→5ページ)

☆☆第5回世界糖尿病デーイベント開催☆☆

当病院は、毎年、世界糖尿病デーイベントを開催しています。

今年のイベントは、11/11(月)～11/16(土)に院内パネル展示を、

11/28(木)午後にはランドゴルフ大会 in きららドームを行います。

詳細は当広報誌に折り込まれているリーフレット(切り離しできます)を

ご覧ください。たくさんの方のご参加をお待ちしています。



笑顔のための、
ブルーサークル。

10月28日(月)からインフルエンザ予防接種開始、予約受付中！！

秋の深まりとともにインフルエンザの季節が近づいて来ます。インフルエンザは例年12月中旬から急増し1～3月がピークになる傾向がありますが、予防のためには、**早目の予防接種が何より大事です**。今年の予防接種は10月28日から開始、現在、外来にて予約受付中です。

■医療法人協愛会理念

1. “地域の安心支援拠点” 安心と信頼を提供します
2. “皆さまの健康長寿” その人らしい生活を支えます
3. “四者満足” 希望と満足を実感できる法人でありつづけます

■基本方針

1. “思い” を大切にした医療・予防・ケアに取り組みます
2. 安全・納得の技術を提供します
3. 切れ目のない地域連携で皆さまを支えます
4. 24時間、365日、まごころサービスで皆さまを支えます
5. 安心と信頼を提供できる人材を育成します

特別企画

山中（やまちゅう、現県立山口高校）時代を振り返って

ーはじめにー

今年8月1日付で発行された、山口県立山口高等学校同窓会誌「熱球45号」に、おお先生こと三好正之会長が、コラム『同窓生からのメッセージ』に寄稿され、旧制山口中学校時代の思い出と、10月に102歳を迎えられる今の心境を綴られました。（紙面の都合上一部省いています。）



■おお先生メッセージ

私は昭和10年に山中を卒業しましたから、今年で卒後84年になります。お蔭様で今もまずまず健康に過ごしており、今年102歳を迎えます。この度、山高同窓会誌「熱球」にメッセージをとのことで、80年以上前のことを思い返しながら書き記しております。

何分ずいぶん昔のことですから、寄る年波には勝てず少々記憶違いがあるかもしれませんが、お許し願います。

冬の寒い時は、大きな木の箱に火種の木炭を入れて使っていました。その底に小さな鉄板をつけたものを使用していました。足の中まで温めると靴が破れ、靴の中まで温めると革靴が破れ、それを包帯でくっつけて歩いたことを思い出します。

(中略)

試験は各学年一緒の時間で、私が2年の時「ベラボー」と言った博物の先生がいて、早口で講義しているので、何を言っているのか分からないまま試験に臨んだため、あまり良い成績ではなかったように覚えています。

それでも同級の水田君は一番で、4年で第一高等学校に入学し、そのまま東大に入って一番で進んだのですが、選ばれてマニラに行き戦死しています。

(中略)

若い時代は、国のため、大衆のため、国民のことを思い、国に殉ずる気概があったことが忘れられない山中時代でありました。

徒然なるままに山中時代の思い出を書き連ねましたが、私もいつの間にか102歳を迎えようとしています。100年間色々なことがありました。

中でも心に鮮明に残っていることは、戦争のことはもちろんですが、戦死した戦友や、戦死寸前であった戦友のことです。昨年NHKの取材で靖国神社にお参りして、ご遺族の方とお話する機会に恵まれました。その時、戦友の姿が寂しく心に思い浮かび、涙ぐんでご遺族の方と話しました。まさに時が経つのを忘れる一時でした。

山中時代の多くの友人も、戦争で亡くなりました。

私は今でも、そしてこれからの人生も、戦友の「御霊」が安らかであるようにと、涙とともに、ただただ祈念するばかりです。「人間同士、戦争は絶対やってはならない」と、この頃切に思っています。

これからも引き続き「命の大切さ」を訴え続け、命ある限り頑張って生きて、人のために盡さなければならないと思っています。

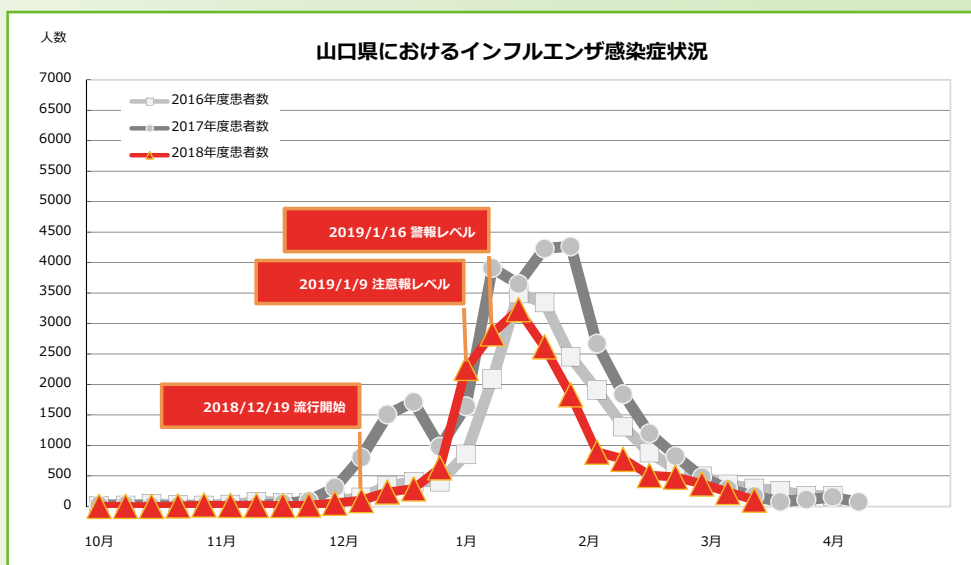


左側がおお先生

インフルエンザ感染症情報

Q. 昨年度のインフルエンザ感染症状況は？

昨年度は年明けに流行の拡大が見られました（右図参照）。一方、今年度は8月よりインフルエンザ感染症が少人数ではありますが発生しています。しかし、恐らく流行のピークは昨年度と同じようになるのではないかと予想しています。



Q. 予防接種をどうして受けるの？

予防接種を受けることでインフルエンザに全く罹らなくなるわけではありません。しかし、ある程度の予防効果（**発症予防**）と、もし罹っても症状が重くならない効果（**重症化予防**）が期待できます。また、集団生活においては施設内流行を抑える効果（**流行予防**）もあります。特に、高齢者の方々には、この3つの効果が大きく期待できます。

Q. 予防接種を受ける時期はいつが効果的ですか？

個人差はありますが、接種後約2週間から効果が現れ、その効果は5か月間持続するといわれています。近年、12月過ぎ頃から翌年3月終わりまでインフルエンザ流行がみられています（上図参照）。従って、流行期に入る前の10月から11月中頃までの接種が効果的です。

Q. 昨年も予防接種しましたが今年も受けたほうがよいのですか？

今年度のワクチンも昨年度と同じく4種類（A型2種類、B型2種類）の混合ワクチンです。しかし、専門家による協議の結果で決定されたもので、昨年度のそれとは成分が異なります。よって、今年度も接種することをお勧めします。

Q. 接種料金は？

① 12歳以下	1回目：2,550円	2回目：2,550円
② 13歳以上64歳以下	1回目：3,970円	(2回目：2,550円)
③ 65歳以上（山口市）	1回目：1,490円	(2回目：2,550円)
（宇部市）	1回目：1,490円	(2回目：2,550円)



注1) 13歳以上は原則として1回接種

注2) 65歳以上で生保の方は全額公費負担

【予約・お問い合わせ】 ☎ 0836-65-2200 (外来窓口)



あなたとともに・・・ 透析ライフをトータルサポート

■皆さまに支えられて今日まで

透析センターが開設されて9年目を迎えました。最初はわずか数名の患者さんでしたが、地域の皆さま、近隣医療機関の皆さまの温かいご支援のお蔭をもちまして、今では、約50名の患者さんに透析治療を行えるようになりました。紙面をお借りして心より感謝申し上げます。

2015年2月、病院新築移転後の透析環境は見違えるほど快適になり、**理念（方針）として、①安全・安心・信頼される透析治療・透析環境を提供します、②患者さまとのコミュニケーションを大切にします**を掲げ、透析常勤医2名、看護師8名、臨床工学技士2名、ほか事務職など4名で運営しています。

透析センター長 三好 正敬

■透析環境・透析室・透析体制・透析クールのご紹介

【透析環境】

- * 外来透析・入院透析対応可 * 関連施設に入所可能
- * チーム医療（内科・外科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・栄養科との連携）

【透析室】

- * オープンフロアー19床（オンラインHDF11台）個室1床
- 【病室透析】入院2床 * 各ベッドに液晶TV設置 DVD使用可能
- * 透析療法：HD（血液透析）オンラインHDF（血液透析濾過）CAPD（腹膜透析）

【透析体制】

- * 午前透析19名 午後透析15名まで受け入れ可能

【透析クール】

午前：8：00～13：00（月・水・金/火・木・土）
午後：13：30～18：00（月・水・金/火・木・土）



■透析センターの特色■

特色1 無料送迎サービス



車椅子の方も通院可能

特色3 透析運動療法

透析中に運動療法を取り入れ、音楽に合わせてストレッチや有酸素運動



特色2 フットケア

フットケア指導士による足病変の早期発見・早期治療



特色4 エコーを使いバスキュラーアクセス管理



【お問合せ】メール：touseki-c@kyoai.or.jp ☎（0836）65-2200（代）

- ・腎臓・透析に関するご相談、お問合せ、治療予約、透析室見学のお申込み
- ・入院透析に関するお問合せ ☎（0836）65-2190（地域連携室直通）



工藤明敏診療部長・外科部長が 山口市佐山地域交流センターで「がん講演」！！

9月28日（土）午後1時から約1時間、山口市佐山地域交流センターで、工藤明敏医師が『「がんです」といわれて困らないために』という演題で講演しました。この講演は、今年8月末竣工したばかりの佐山地域交流センターの落成記念講演として、また、毎年開催される、佐山地区地域づくり協議会主催の「健康福祉教室」として開催されました。

講演は、まず工藤医師のプロフィール紹介で始まり、引き続き、工藤医師が演壇に立ちました。工藤医師は講演の中で、今や3人に1人ががんで亡くなり、死因第1位となっている現状を踏まえ、がんで亡くなられた著名人の実例を示しながら、がんの告知をどのように受け止めればよいか、についてアドバイスしました。「がんになった時は一人で悩まず、家族や友人に話し、正しい知識を得ることが必要です。そして、ドクターショッピングをせず、セカンドオピニオンを利用してほしい。」と訴えました。講演の途中では、自ら執刀した「直腸がんの腹腔鏡手術」の動画を交えながら、がん手術の最新技術について触れました。さらに、がんの発症と遺伝の関係、がんの家族歴について説明し、最後に、「上手な病院のかかり方」をアドバイスしました。講演後、活発な質疑応答があり、工藤医師はそれぞれの質問に丁寧に答え、大変有意義な講演となりました。

会場が満席となる85名の佐山地区の皆さんは、メモを取りながら熱心に聴講されていました。

講演には、山口新聞、毎日新聞、宇部日報各紙から取材があり、工藤医師は新聞記者の皆さんに丁寧に応じられていました。

当日の講演風景は当院ホームページで新着公開していますので、一度アクセスしてみてください。



工藤医師講演風景



集合写真（後部からの写真）



スライド
「告知後の心の動き」

「患者さんの権利を尊重すること、高齢者の皆さんをお守りすること」の憲章

■患者さんの権利を守ります■

1. 患者さんは、人間として尊重される権利を持っています。
2. 患者さんは、いつでも必要かつ十分な医療を受ける権利を持っています。
3. 患者さんは、プライバシーが尊重される権利を持っています。
4. 患者さんは、自分の選択によって治療を受ける権利と共に治療を拒否する権利を持っています。
5. 患者さんは、医師や医療従事者に十分な説明を受ける権利を持っています。
6. 患者さんは、平等な治療を受ける権利を持っています。

■「高齢者」の皆さんに対して■

◎尊厳を持って自立した生活が送れるよう支援します。◎健康で生きがいをもって、社会参加ができるよう手を差し伸べます。◎利用者の皆さんから、信頼され満足されるサービス提供に努めます。◎処遇の質的改善、権利擁護体制の充実に努めます。◎看護、介護を通して在宅への可能性を支援します。◎リハビリテーションを充実し、介護予防、社会参加の推進に努めます。◎フォアザペイシエントの姿勢を貫きます。

外来診療のご案内

阿知須 共立 病院
Tel 0836-65-2200 Fax 0836-65-4436
2019年10月1日

		月	火	水	木	金	土	専門分野		
内科	午前	三好正規	三好正規	三好正規	三好正規	三好正規	鈴木千衣子 (第2・3・4) 三好正敬 (第1・2・4) 松原弘子 (第1・3) 呼吸器医師 (第2・4)	三好正規 鈴木 三好正敬 松原 沖田 村川 藤田 淀川 内山 呼吸器医師 藤井	内科一般・内分泌内科 呼吸器内科・福祉相談 産業医学相談 内科一般・消化器内科 内視鏡内科・肝臓内科 内科一般・循環器内科 腎臓内科 内科一般・糖尿病内科 内科一般・肝臓内科 消化器内科 内科一般・循環器内科 内科一般・循環器内科 内科一般・糖尿病内科 内科一般・腎臓内科 内科一般・呼吸器内科 禁煙外来	
		松原弘子	松原弘子	藤田美穂		淀川千佳				
		村川香里	三好正敬	鈴木千衣子	鈴木千衣子	三好正敬				
				沖田 極						
	午後			三好正敬 (無呼吸外来)						/
		松原弘子		藤田美穂		淀川千佳				
		村川香里								
		内山奈津実	内山奈津実	沖田 極	藤井郁英 (禁煙外来)					
脳神経外科	午前	石光 宏	石光 宏	石光 宏		石光 宏 (第1・3)	石光	脳神経外科一般・もの忘れ外来・認知症外来		
	午後	石光 宏 (脳ドック)	石光 宏 (認知症外来)	石光 宏 (脳ドック)		石光 宏 (脳ドック)				
外科	午前	工藤明敏	原田俊夫	古谷 圭 (手術)	工藤明敏	工藤明敏	工藤明敏 (第1・3) 原田俊夫 (第2・4)	工藤 原田 古谷	外科一般・消化器外科 乳腺外科・血管外科 呼吸器外科・甲状腺外科 外科一般・消化器外科 外科一般	
	午後		(手術)	(手術)	(手術)	ストーマ外来 (第1・3)				
整形外科	午前	三好智之	三好智之	三好智之	三好智之	徳重厚典	三好智之 または 村松慶一	三好智之 村松 徳重 楊	整形一般 整形一般・手の外科 骨軟部腫瘍 整形一般・股関節 リウマチ 整形一般	
	午後					楊 宏隆 ※16時～手術				

- * 診察時間 月曜～金曜日 9:00～17:30 (12:30～14:00を除く)
土曜日 9:00～12:30 (午後休診) 第5土曜日(11/30)は休診、10/22(火)休診(天皇即位礼正殿の儀)
- * 上記時間外・深夜・休日は、当直医がおりますので、急患は受付させていただきます。

私たちは院内の最新情報、旬な情報を地域の皆様にいち早く、分かり易くお伝えする為に、病院だよりの発行やホームページの編集も行っています。知りたい情報がすぐに見つけられる、見易いホームページとなっています。

阿知須共立病院

〒754-1277 山口市阿知須4841番地1
Tel 0836-65-2200
<http://www.kyoai.or.jp>
地域連携室 ☎ 0836-65-2190

